神の川ヒュッテ通信 第95号

発行日　平成２８年７月１日
発行者　神の川ヒュッテ代表　杉本憲昭
相模原市緑区小渕 1545-1 北丹沢山岳センター内
TEL042-687-4011 FAX042-687-3980

関東大震災とその翌年に発生した丹沢地震

～長者舎集落は土砂に埋もれ眠っている～

１９２４年に発生した丹沢地震では、丹沢山塊の山を崩し谷を埋め尽くし、神の川青根の長者舎５２戸を埋め尽くした。最近の新聞報道によれば、首都圏での地震の発生率は３０年周期と言われています。もし首都圏で地震が起こり、続いて丹沢山塊の山に関東大震災の時と同等規模の地震が及んできたら、一体この地はどうなってしまうのでしょうか。
蛭ヶ岳は生き残れるのでしょうか。

丹沢地震で５２戸が埋まった長者舎跡地
今は雑草が生い茂る原野となっている

県境分岐からの新ルート約１．５ｋｍ作成しました

県境分岐から神の川ヒュッテまでの間に崩壊箇所が見つかりました。これを回避する為、約１．５ｋｍの新ルートを作成しました。これで安全に通行可能になりました。

北丹沢の拠点
青根地区の小学校が火災で焼失

「地域の象徴」校舎全焼の相模原・青根小

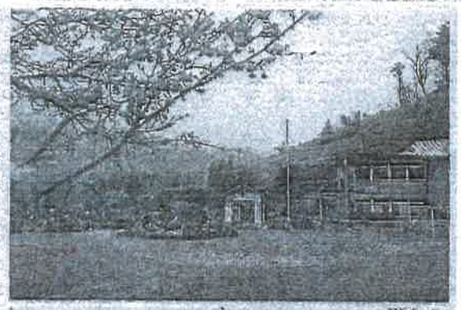
目未明の火災で、神奈川県苦となる木造校舎が全焼した相模原市立青根小学校（緑の入学式が5日、近くの青学校を間借りして開かれ地域住民が見守るなか、在3人が新入生1人を迎え、発を誓った。

中学校間借り

自午前、入学式に先だってれた始業式で、須藤ゆかりは在校生に「どんな困難も越えましょうという青根小育目標を知っていると思い。今こそ力を合わせて乗りていきましょう」と呼びかけた。新学期は当面、青根中の教室を使って授業をするという。

入学式には地域住民ら約40人も参列。新入生の女子児童が上級生に手を引かれて入場すると、会場から拍手がわき起こった。児童の母親(33)は入学式後、報道陣に「校舎が燃えてしまったのは残念ですが、地域の皆さまにも温かく見守っていただければ」と話した。

30年近く青根小と児童の写真を撮り続けてきた天野暁子さん(73)はスーツ姿で入学式の撮影に臨んだ。天野さんは「悲しんでばかりいられない。気持ちを切り替え、これからも写真を撮り続けます」。



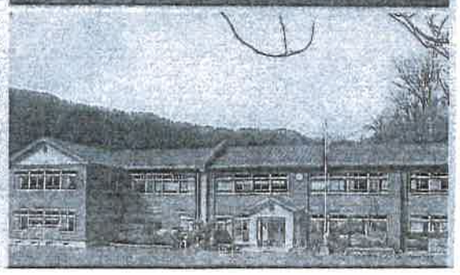
73年前に思い

築73年、総ヒノキ造りの校舎は住民の協力で建てられた。前の校舎は1941年の火災で焼失。住民は生活の糧だった木を山から切り出し、校庭で製材。物資不足で釘がなかった当時、各家庭は、自宅の釘を抜いて提供して再建した。青根地区の住民、花輪幸男さん(86)は「コンクリートの基礎工事のため、子どもが近くの川から砂を運んできた」と振り返る。

45年に1500人近くいた付近の集落の人口も、今年2月現在で約580人まで減った。児童数の減少から建て替えの浮上したこともあった。青域振興協議会の関戸正文(66)は「小学校は地域の象で、何物にも代えがたいことになった」と話す。

校舎は地域交流の拠点でった。季節ごとの運動会や会、朗読会には、通学児童のない高齢者世帯も招待され、回100人近くの住民でにぎった。住民が「地域の宝」をそろえる校舎だった。

両親も卒業生という高校生井上智花さん(17)と弟の真1年生太智さん(15)は焼け跡訪れ、「木のぬくもりのする別な学校だった。校舎がなくても、心の中にずっと残していきたい」と話した。



トレイル大会地元に果たす役割
国・県も認め指導基準発表する

神奈川県内の国定公園及び県立自然公園内において
トレイルランニング大会等を企画する主催者の皆様へ

-「トレイルランニング大会等の開催に関する神奈川県からのお願い」をお示しする経緯について-

1　はじめに

環境省は、平成27年3月に、トレイルランニング大会等を適正に運営するため「国立公園におけるトレイルランニング大会等の取扱いについて」(以下「環境省取扱い」といいます)を整理しました。

併せて、神奈川県宛てに、関係業務の参考とするよう通知(平成27年3月31日付 環自国発第1503313号)がありました。

2　近年の状況

近年、山岳地の利用が多様化する中で、国立公園や国定公園等の自然公園をコースに含めるトレイルランニング大会等(以下「大会等」といいます。)が多数開催されています。

首都圏に近接して箱根、丹沢などの自然公園を有する神奈川県でも、大会等の開催数やコースは毎年増加傾向にあります。

自然公園歩道の利用に関して、自然公園法(昭和32年法律第161号)では、走ることを制限していませんが、自然公園歩道は大会等での走行による利用を想定している施設ではありません。

大会等が不適切な内容で開催されることにより、歩道周辺の自然環境への影響、歩道の破損、一般利用者の安全で快適な利用の妨げなどが懸念されます。

一方で、大会等は自然環境を活かした地域振興策として開催されるケースも多く、一般利用者への聞き取り調査でも開催方法によっては許容できるという声が多くあります。

3　大会等への神奈川県の対応

神奈川県では、誰もが快適に自然公園歩道を利用できるよう、県内の国定公園や県立自然公園内の県管理自然公園歩道で開催される大会等について、「環境省取扱い」を適用します。

適用にあたり、「環境省取扱い」の中では、一般的、概念的に記載されている内容について、神奈川県の実状を踏まえ、例示や固有名詞を用いながら具体的な留意事項や手続き等を整理した「トレイルランニング大会等開催に関する神奈川県からのお願い」を作成しました。

大会主催者の皆様には、この「トレイルランニング大会等の開催に関する神奈川県からのお願い」に記載された内容にご配慮いただき、大会等の適切な計画立案、運営に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

神の川ヒュッテ五右衛門風呂の一部手直しをしました

ヒュッテの塗装も実施いたしました

これからの時期は五右衛門風呂入浴にうってつけの季節です。五右衛門風呂の縁から、薪の焚き口へ水が垂れて燃えにくかった為、「コーキング」を施しました。これで風呂焚きも快適にできます。ヒュッテ外壁も防腐塗装を終えて、見違えるようにきれいです。

編集後記　神の川ヒュッテの管理運営から２３年間が経ち様々な事がありましたが、この間の平成１０年には更に未曾有の土砂災害に見舞われました。大変なときには再建しようと踏ん張る力と勇気が出来ました。今このときには一体何が出て来ますでしょうか。少し年を取りすぎたでしょうか？　杉本憲昭